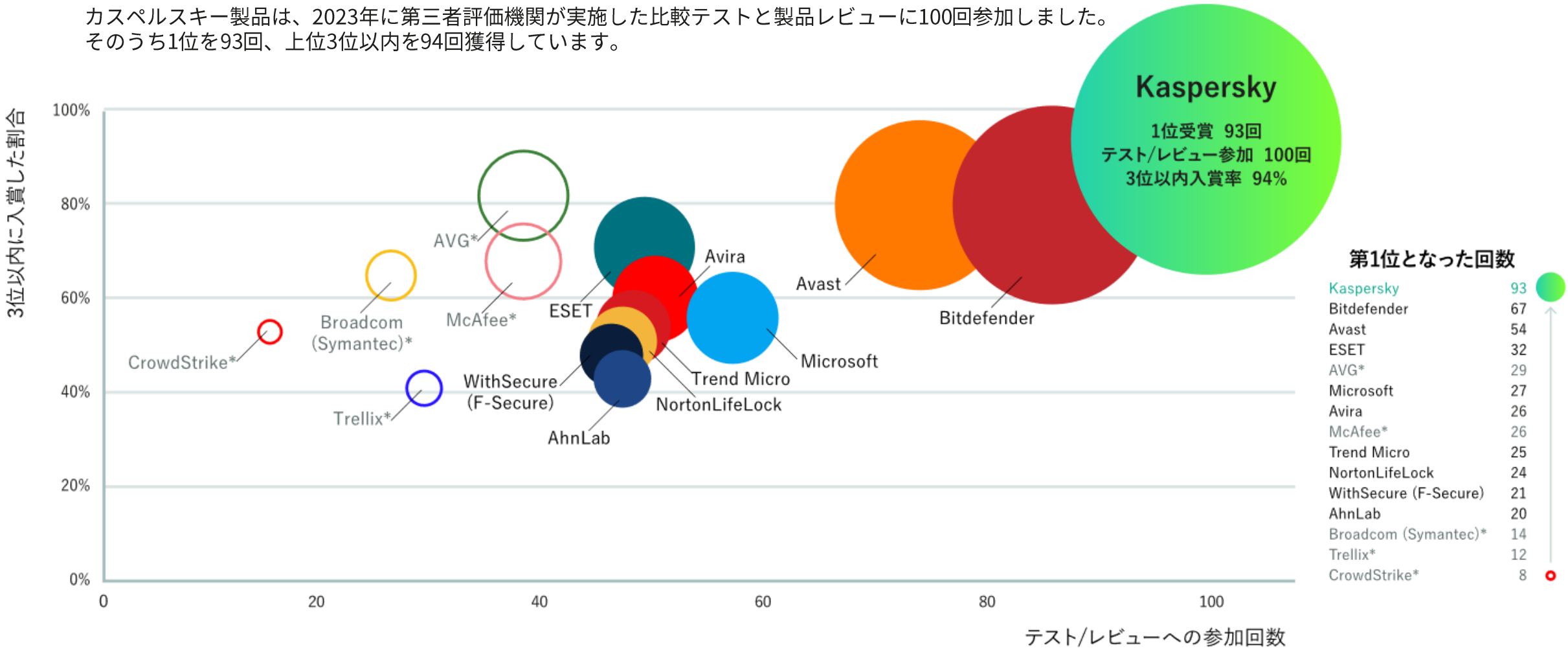
より多くのテストに参加し、最多のトップ評価獲得実績。カスペルスキーの保護*

カスペルスキー製品は、2023年に第三者評価機関が実施した比較テストと製品レビューに100回参加しました。
そのうち1位を93回、上位3位以内を94回獲得しています。



MOST TESTED*
MOST AWARDED*
KASPERSKY PROTECTION
*kaspersky.com/top3

* 注：
- 2023 年に行われた会社や消費者、モバイル製品向けの第三者機関のテストの結果の概略に基づく。
- 要約には、次の機関による独自のテストが含まれています：AV-Comparatives、AV-TEST、MRG Effitas、SE Labs、Testing Ground Labs、Virus Bulletin。
- これらのプログラムで行われているテストは、既知の脅威や未知の脅威、高度な脅威から保護するすべてのテクノロジーを評価します。
- 円の大きさは獲得した1位の数を反映しています。
- ほとんどは、2013年～2022年の期間にテストされました。
- *マークのついたベンダーは、参加したテスト数が全体の35%を下回っていたため、グラフに補完的に追加されています。

2023年のTOP3メトリックの説明

TOP3メトリックには、特定の暦年に第三者評価機関が実施した比較テストにおける特定のベンダーの成績が反映されます。

成功の主な基準となる**TOP3スコア**は、報告期間内にベンダーが参加した第三者評価機関によるテストにおいて、そのベンダーの製品が1位、2位、または3位を何回獲得したかを示します。**TOP3スコア**は、ベンダーの**TOP3獲得回数**をベンダーの**参加回数**で割って算出します。

TOP3スコアは、参加するベンダーごとに判定し、比較されます。

1. 最終的なテスト結果はテストによって異なり、参加ベンダーにアワードが授与される場合や、検知率や誤検知回数のリストが提示されるだけの場合もあります。
   ベンダーの**TOP3獲得回数**は、アワード受賞またはテストでの3位以内の獲得のどちらかに対して加算されます。アワード受賞とテストでの3位以内獲得の両方が加算されることはありません。
   複数のベンダーが検知率や集計結果で同じ結果を出した場合や、同じグレードのアワードを受賞した場合、これらのベンダーは当該テストで同じ順位を分け合うことになります。
   検知率や集計結果に関して、それらのベンダーより結果が低かったベンダーの順位は「上位ベンダーの数＋1」として計算されます。たとえば、順位が「1,1,2,3」という並びになることはなく、「**1,1,3**,4」、「**1,2,2**,4」、または「**1,1,1,1,1**,6」のようになります。前述の並びにおいて、TOP3獲得回数が加算されるのは、太字のベンダーのみです。
   アワードに関しては、以下に記載されているテストの説明に列挙されたルールの説明を参照してください。
2. ベンダーの参加回数は、同社製品のいずれかがテスト／レビュー／概要に参加するごとに加算されます。
   テストによっては、1社のベンダーの複数の製品が同じテストに参加する場合もあります。そのような場合、製品ごとに参加回数が加算されるため、参加回数がテストの合計数より多くなる可能性があります。

グラフには、テストの合計数の35%以上に参加したベンダーの結果だけが表示されています。

2023年に獲得したスコアの提出期限は2024年2月1日で、この日以降に獲得したテスト／レビュー結果を追加することはできません。

TOP3評価に参加したセキュリティベンダーには、AhnLab、Avast、AVG、Avira、Bitdefender、Broadcom（Symantec）、CrowdStrike、ESET、WithSecure（F-Secure）、Kaspersky、McAfee、Microsoft、NortonLifeLock、Trellix、Trend Microが含まれます。参加した全ベンダーは本文書末に記載されています。

	参加テスト数	3位以内の回数	上位3位獲得率（%）	第1位の回数
カスペルスキー	100	94	94%	93
AVG*	38	31	82%	29
Bitdefender	86	69	80%	67
Avast	74	59	80%	54
ESET	49	35	71%	32
McAfee*	38	26	68%	26
Broadcom (Symantec)*	26	17	65%	14
Avira	50	30	60%	26
Microsoft	57	32	56%	27
Trend Micro	48	26	54%	25
CrowdStrike*	15	8	53%	8
NortonLifeLock	47	24	51%	24
WithSecure (F-Secure)	46	22	48%	21
AhnLab	47	20	43%	20
Trellix*	29	12	41%	12

*AVG、CrowdStrike、Broadcom（Symantec）、McAfee、Trellixは、テスト全体の34%、14%、23%、34%、26%にしか参加していませんが、これらのベンダーの結果はグラフに表示する価値があると当社は判断しました。

2023年のTOP3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは以下のとおりで、いずれも2023年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

個別の脅威

APT

- AV-Comparatives ： Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-Comparatives ： Endpoint Prevention and Response (EPR) test
- AV-TEST：Advanced EDR Test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (EDR) Test – Detection

ランサムウェア

- AV-Comparatives ： Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-Comparatives ： Endpoint Prevention and Response (EPR) test
- AV-Comparatives ：Business Security Test
- AV-Comparatives：Malware Protection Test
- AV-Comparatives ： Real-World Protection Test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-TEST：Bi-Monthly Certification: Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (EDR) Test – Detection
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (Ransomware) Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Enterprise Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Home Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): SMB Test
- Testing Ground Labs：Ransomware Protection Test

フィッシング

- AV-Comparatives：Anti-Phishing Test

ファイルレス

- AV-Comparatives ： Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-Comparatives ： Endpoint Prevention and Response (EPR) test
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Enterprise Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Home Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): SMB Test

エクスプロイト

- AV-Comparatives ： Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (EDR) Test – Detection
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Enterprise Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Home Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): SMB Test

実環境テスト

- AV-Comparatives ： Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-Comparatives ：Business Security Test
- AV-Comparatives ： Real-World Protection Test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-TEST：Bi-Monthly Certification Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Enterprise Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): Home Test
- SE Labs：Endpoint Security (EPS): SMB Test

Androidテスト

- AV-Comparatives ： Mobile Security Review
- AV-TEST：Android Mobile Security Products Test: Consumer and Business
- MRG Effitas：Android 360 Assessment Programme
- Testing Ground Labs：Android Malware Detection Test: Consumer and Business

Macテスト

- AV-Comparatives ： Mac Security Test & Review
- AV-TEST：Mac Detection & Performance Test: Consumer and Business

専門テスト

- AV-Comparatives：Anti-Tampering Test
- AV-Comparatives ： Parental Control Certification
- AV-TEST：VPN Test

誤検知（FP）

- 前述のすべてのテストのうち、FPの測定が含まれるもの

2023年のTOP3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは以下のとおりで、いずれも2023年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

AV-Comparatives

- **Product of the Year**

  この年間アワードは年末に、1年間のテストサイクル内で最高位のアワードを獲得した個人向け製品に授与されます。対象となるのは以下のテストです：2つのMalware Protection Test（MPT）+ 2つのReal-World Protection Test（RWPT）+ 2つのPerformance Test + Advanced Threat Protection Test（ATP、旧名称：Enhanced Real-World Test）。AV-Comparativesの規定では、2つ以上の製品が同点で最高スコアを獲得した場合、個別テストの得点が最も高く、前年度に受賞していない製品が受賞することになっています。このシールはTOP3メトリックでは1位としてカウントされます。

  製品がノミネートされたものの、「Product of the Year」を受賞しなかった場合、そのベンダーには「Outstanding Product」ランクが与えられ、TOP3メトリックで2位としてカウントされます。

  製品がテストサイクル全体で90点以上を獲得した場合、そのベンダーには「Top Rated」ランクが与えられ、TOP3メトリックで3位としてカウントされます。残りの製品はTOP3獲得回数が加算されません。

  年末には、特定のテスト（MPT、RWPT、Performance、ATP）における最高の結果に対してメダル（「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」）が授与されます。これらのテスト結果は既にTOP3メトリック全体に考慮されているため、2015年以降、メダル自体はTOP3メトリックにカウントされなくなっています。

  AV-Comparativesテストでは、アワードのみがTOP3獲得回数に加算されます。

- **Malware Protection Test**

  本テストは、File Detection Testの後継であり、テスト対象ファイルの実行がテストに含まれます。年2回実施されるため、メトリックでも2回カウントされます。このテストは、検知率と誤検知という2つの部分から構成されています。

  製品に対して以下のアワードが授与されます：「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Real-World Protection Test**

  テストは4か月間にわたって実施され、主に最新の、目に見える、関連性のある悪意のあるウェブサイト／マルウェアを使用して半年間のレポートとして最終的にまとめられます。このテストは年に2回実施されるため、メトリックにも2回カウントされます。製品のすべてのコンポーネントが全体的な保護において重要な役割を果たすため、このカテゴリで達成された結果は、現実的なシナリオにおけるマルウェア対策製品の効率性を示す良い指標となります。

  製品に対して以下のアワードが授与されます：「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business**

  このテストでは、攻撃者が特定の外部コンピューターシステムを標的とするために使用するハッキング技術や侵入技術を用いて、そのような攻撃に対するセキュリティ製品の保護水準を評価します。エクスプロイトやファイルレス攻撃など、標的型の高度な脅威に対する防御力をチェックするテストです。

  デフォルトで、個人向けのMain-Test-Seriesの全製品がテスト対象とされていますが、ベンダーにはテスト開始前にこのテストから辞退する権利が与えられるため、すべてのベンダーがこのテストに含まれるわけではありません。このテストは年1回実施され、メトリックに加算されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。

  個人向け製品には、以下のいずれかのアワードが授与されます：「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

  ビジネス向け製品は、テストに用いられる15種類の攻撃のうち8種類以上をブロックし、なおかつ悪意のない操作をブロックすることがなければ、テスト機関によって認定され、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Endpoint Prevention & Response (EPR) Test**

  このテストは年1回実施され、メトリックに加算されます。標的型攻撃に対するセキュリティソリューションの対応能力（能動的対応、受動的対応）、改善措置の実施能力、攻撃内容の調査、侵害の兆候に関する情報の収集とわかりやすい形での表示などが評価されます。Enterprise EPR CyberRiskQuadrantには、各製品の侵害防止効果、それによる節約額の算出、製品の購入コスト、製品の精度コストが考慮されます。

  製品は、「Strategic Leaders」、「CyberRisk Visionaries」、「Strong Challengers」という3つのレベルのいずれかに認定されるか、認定対象外となります。「Strategic Leader」の認定を受けた製品に限り、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

2023年のTOP3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは以下のとおりで、いずれも2023年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

- **Anti-Tampering Test**
  このテストは年1回実施され、メトリックに加算されます。改ざんによるコンポーネントまたは機能の無効化または変更に対するAV/EPP/EDR製品の耐性を評価することを目的としています。

  認定を獲得した製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Business Security Test**
  このテストは年2回公開されるため、メトリックでも2回カウントされます。本レポートでは、さまざまなビジネス向けセキュリティ製品のレビューを行い、さまざまなマルウェアセット、ウェブサイト、エクスプロイトに対する保護率、誤検知レベル、システムパフォーマンスへの影響などのカテゴリで保護の効率性を評価します。

  Malware Protection Testにおいて一般的なビジネスソフトウェアで誤検知なく90%以上の保護率を達成した製品、および、Real-World Protection Testにおいてすべてのクリーンなソフトウェア／ウェブサイトで誤検知が100件を下回り90%以上の保護率を達成し、なおかつパフォーマンスに大きな問題がなかった製品が、テスト機関によって認定され、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Anti-Phishing Test**
  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。このテストでは、ユーザーがウェブ閲覧中にセキュリティ製品で提供されるフィッシング対策のみを利用するという一般的な状況をシミュレーションします。このテストは、検知率と誤検知という2つの部分から構成されています。

  すべての製品が誤検知ゼロを達成した場合は、保護率が上位3位までの製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、TOP3獲得回数が加算されるのは、認定製品のベンダーのみです。

- **Mobile Security Review**
  このレビューは年1回行われ、メトリックにカウントされます。レビューには、Malware Protection Testに加え、追加機能（盗難防止、バッテリー消費など）の概要も考慮されます。

  すべての製品が誤検知ゼロを達成した場合は、保護率が上位3位までの製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、TOP3獲得回数が加算されるのは、認定製品のベンダーのみです。

- **Mac Security Test & Review**
  このレビューは年1回行われ、メトリックにカウントされます。レビューでは、さまざまなMac向け保護製品を製品の機能リストに照らして評価し、MacとWindowsに関連する個別のマルウェアセットの検知率や誤検知レベルなどのカテゴリで保護レベルを測定します。

  すべての製品が誤検知ゼロを達成した場合は、保護率が上位3位までの製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、TOP3獲得回数が加算されるのは、認定製品のベンダーのみです。

- **Parental Control Certification**
  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。テストでは、セキュリティ製品を対象に、望ましくないウェブサイトへの子どものアクセスを防止する効率性を評価します。

  ポルノサイトの98%以上をブロックし、子ども向けのウェブサイトでの誤検知がゼロで、レビュー中に未解決の重大な不具合（または設計上の欠陥）が発見されなかった製品のみが認定され、そのベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

2023年のTOP3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは以下のとおりで、いずれも2023年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

AV-TEST

- **Best Protection Award: Consumer and Business**
  この年間アワードでは、1年間にわたって隔月で認定が行われ、保護部門で完璧な結果を残した場合に、年1回アワードが授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。
- **Best Usability Award: Consumer and Business**
  この年間アワードでは、1年間にわたって隔月で認定が行われ、ユーザビリティ部門（誤検知に対する抵抗）で完璧な結果を残した場合に、年1回アワードが授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。
- **Best Android Security Award: Consumer**
  この年間アワードは、1年間のAndroidセキュリティテストで完璧な結果を出した場合に年1回授与されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。
- **Best Mac Security Award: Consumer and Business**
  この年間アワードは、1年間のMacセキュリティテストで完璧な結果を出した場合に年1回授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。
- **Best Advanced Threat Protection Award: Consumer and Business**
  この年間アワードは、1暦年のAdvanced Threat Protectionテストで完璧な結果を出した場合に年1回授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。
- **Bi-Monthly Certification: Consumer and Business**
  この1年間の認定シリーズは、個人向けと法人向けの部門で構成され、それぞれ2か月間のテストを6回行い、結果は偶数月ごとに発表されます。つまり、このテストはメトリックで6回カウントされることになります。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。すべての参加製品は、保護、パフォーマンス、ユーザビリティの各カテゴリで評価され、ポイントを獲得します。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてTOP3獲得回数が加算されます。
- **Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business**
  このテストはメトリックで7回カウントされます（10月、12月、2月、4月、6月、8月、10月）。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。エンドポイントソリューションを対象に、通常業務で誤検知を発生させることなくランサムウェアやデータスティーラーを展開するAPT攻撃を検知し、脅威を防御する能力を評価します。実行される攻撃チェーンは、MITRE ATT&CKの異なるTTPに起因する別々のステージに分割されています。各ステージの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてTOP3獲得回数が加算されます。

2023年のTOP3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは以下のとおりで、いずれも2023年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

- **Advanced EDR Test**
  このテストは年1回実施され、メトリックに加算されます。このテストでは、APT攻撃で典型的にみられる悪意のあるアクティビティの特定・阻止に関してセキュリティ製品の有効性を測定します。この調査では、2つの異なる検知シナリオで一連のレッドチーム攻撃がシミュレーションされ、攻撃者が採用する可能性のあるさまざまな戦術やテクニックがそれぞれのシナリオで網羅されます。

  認定を獲得した製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Android Mobile Security Products Test: Consumer**
  この1年間の認定シリーズは、Android向けのさまざまなセキュリティ保護製品を評価するもので、個人向け部門のみから構成され、6つのテストに分かれています。結果は奇数月ごとに発表されます。つまり、このテストはメトリックで6回カウントされることになります。すべての参加製品は、保護、パフォーマンス、ユーザビリティの各カテゴリで評価され、ポイントを獲得します。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてTOP3獲得回数が加算されます。

- **Mac Detection & Performance Test: Consumer and Business**
  このテストは、Mac OS X向けのさまざまなセキュリティ保護製品を評価するもので、個人向けと法人向けの部門で構成されます。結果は公表され、メトリックで年4回カウントされます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。すべての参加製品は、保護、パフォーマンス、ユーザビリティの各カテゴリでポイントを獲得します。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてTOP3獲得回数が加算されます。

- **VPN Test**
  テストは年1回実施され、メトリックに加算されます。ユーザビリティ、セキュリティ、プライバシー、スピード、透明性という分野別にVPNソリューションを評価・比較します。

  認定合格した製品につき、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

MRG Effitas

- **360 Assessment & Certification**
  このテストは年4回実施・公表され、初期感染をブロックする能力と、侵害されたシステム上のマルウェアを検知して修復するのにかかる時間の両方を評価します。このテストは、以前の「Time to Detect & Remediate Assessment」テストに代わるもので、2020年第2四半期より、金融を狙ったマルウェアに対する製品の対処効率を評価するオンラインバンキング部門が含まれるようになりました。認定を獲得した製品のみ、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- **Android 360 Degree Assessment Programme**
  このテストは年4回実施・公表され、初期感染を端末へのコピー中にブロックする能力（いわゆる早期検知）と、実行中にブロックする能力（インストールステージ）の両方を評価します。このテストには誤検知サブテストも含まれます。

  2つのステージにおける検知率を合算して上位3位に入った製品は、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

2023年のTOP3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは以下のとおりで、いずれも2023年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

SE Labs（旧名称：Dennis Technology Labs）

- Endpoint Security (EPS): Enterprise Test
- Endpoint Security (EPS): SMB Test
- Endpoint Security (EPS): Home Test

  四半期ごとに実施されるこれらのテストは、年4回公表され、メトリックにカウントされます。以前はEnterprise Endpoint test、Small Business Endpoint test、およびHome Anti-Malware Protection testという名称でした。これらのテストは、著名なセキュリティ企業が提供するマルウェア対策製品の有効性を比較することを目的としています。大企業向け製品、個人向け製品、中小企業向け製品は別々に評価されます。テスト期間中、製品は進行中のインターネット上の脅威に、顧客の体験を忠実に再現した非常にリアルな方法でさらされます。結果には、ユーザーが感染したウェブサイトを閲覧した場合など、実際に顧客が使用するシナリオで製品がどのように機能するかが反映されています。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。

  2つのサブテストのポイントを合算して計算されるTotal Accuracy Ratingのスコアが高い上位3製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- Enterprise Advanced Security (EDR) Test – Detection

  このテストは、今年は年1回公表され、メトリックに加算されます。Breach Resonse Testとも呼ばれるこのテストでは、犯罪者などの攻撃者がシステムやネットワークを侵害するのと同じ方法でシステムを侵害し、標的のネットワークに侵入するように設計されたさまざまなハッキング攻撃に対するテスト対象製品の有効性を評価します。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。

  2つのサブテストのポイントを合算して計算されるTotal Accuracy Ratingのスコアが高い上位3製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- Enterprise Advanced Security Test - Ransomware

  このテストは、今年は年1回公表され、メトリックに加算されます。このテストでは、既知のランサムウェア、未知のランサムウェア、意図的な回避型ランサムウェアの検知に関して、さまざまなハードウェアプラットフォームの能力を検証します。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。

  2つのサブテストのポイントを合算して計算されるTotal Accuracy Ratingのスコアが高い上位3製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

- Email Security Services Protection Test

  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。テストでは、Office365プラットフォーム向けのメールホスト型保護サービスを対象に、フィッシング、BEC（ビジネスメール侵害）、ソーシャルエンジニアリング、現実のスパムを含む脅威をリアルタイムでどれだけ効果的に検知・保護できるかを評価します。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。

  2つのサブテストのポイントを合算して計算されるTotal Accuracy Ratingのスコアが高い上位3製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

Testing Ground Labs

- Android Malware Detection Test: Consumer and Business

  このテストでは、モバイル向け製品がユーザーのAndroid搭載端末をいかに効果的に脅威から保護できるかを評価します。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。今年は、個人向け製品は6回、法人向け製品は3回公表されています。

  2つのサブテストのポイントを合算して計算される合計スコアが高い上位3製品について、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

VirusBulletin

- VB100 Certification

  これらのテストは毎月実施され、さまざまな種類の製品を評価します（以前は偶数月に実施されていました）。今年はレポートが12回発行されています。

  認定合格した製品につき、ベンダーのTOP3獲得回数が加算されます。

2023年のTOP3メトリックの説明

TOP3-2023に登録されたテストの全参加者リスト。

- 1E
- Acronis
- AhnLab
- AMD
- Antiy Labs
- ArcaBit
- Avast
- AVG
- Avira
- Bitdefender
- Bkav
- Broadcom (Symantec)
- Check Point
- CHOMAR
- Cisco
- ClamAV
- Clario
- CMC Cyber Security
- Combo
- Coronet Cyber Security
- CrowdStrike
- Cybereason
- Cynet
- CyRadar
- Data443
- Defenx
- Dr.Web
- Elastic
- EmsiSoft
- Enigma Software Group
- ESET
- ESTsecurity
- Exosphere
- Faronics
- Fortinet
- G DATA
- Google
- Hammock
- Ikarus
- Intego
- Intel
- K7
- Kaspersky
- Lavasoft
- Mailcow
- Malwarebytes
- McAfee
- Microsoft
- Microworld
- NAVER Cloud
- NortonLifeLock
- Palo Alto
- Panda
- PC Matic (PC Pitstop)
- PCProtect
- Private Internet Access Inc.
- Protectstar
- Qi-ANXIN
- Qihoo 360
- Quick Heal
- Rising
- Sangfor
- Scanguard
- Securion
- SentinelOne
- Seqrite
- SGA EPS
- Shield Antivirus
- SOMANSA
- Sophos
- Super Speed
- TGSoft
- ThreatBook
- Total Defense
- TotalAV
- Trellix
- Trend Micro
- TTB
- Tweaking Technologies
- ベンダーA (AVC-EPR)
- ベンダーB (AVC-EPR)
- ベンダーC (AVC-EPR)
- ベンダーD (AVC-EPR)
- ベンダーE (AVC-EPR)
- ベンダーF (AVC-EPR)
- ベンダーG (AVC-EPR)
- ベンダーH (AVC-EPR)
- Vietnam Posts and Telecommunications Group
- VIPRE
- VMware（Carbon Black）
- WatchGuard
- Webroot
- WithSecure (F-Secure)
- Xcitium (Comodo)
- Zoner